

報道関係者 各位

2023年10月31日
WDO 世界デザイン会議 東京2023事務局

32の国と地域から192名のデザイン関係者が参加 WDO 世界デザイン会議 東京2023が閉幕 デザインを通じたこれからの社会の可能性を議論

デザイン分野の国際組織であるWorld Design Organization（以下、WDO）が主催する世界デザイン会議東京2023事務局（代表団体：公益財団法人日本デザイン振興会）は、10月27日（金）～29日（日）の3日間、「WDO 世界デザイン会議 東京2023」を開催しました。日本での開催は34年ぶりとなった本会議では、「DESIGN BEYOND（デザインの向こう側）」をテーマに、世界32の国と地域から192名のデザイン関係者や、エコロジー・エンジニアリング・コミュニケーション・サイエンス・テクノロジーなど幅広い領域の前線を担う関係者が結集。3日間にわたり、デザインの新たな役割や可能性について議論しました。また、延べ1,300名が来場およびライブ配信により会議を視聴しました。



会議終了後のデビッド・クスマWDO会長（前列左から5番目）、田中一雄WDO世界デザイン会議東京2023実行委員長（前列右から5番目）、スピーカーの集合写真

27日（金）研究・教育フォーラム 主なトピックス（敬称略）

●開会挨拶

デビッド・クスマ（WDO会長）、田中一雄（WDO世界デザイン会議東京2023 実行委員長、株式会社GKデザイン機構代表取締役社長/CEO）、ピエール・パオロ・ペルッチョ（トリノ工科大学デザイン学部教授）、山本亨（墨田区長）が登壇。

●キーノートスピーチ

アイセ・バーセル（Birsell + Seck共同創業者・工業デザイナー）「DESIGN FEINT」
ジャン・リウ（清華大学建築学院副院長・教授）「People, Nature & Policy: Planning for Sustainable Human Settlement Development with Design Thinking」

●研究発表

Design for Humanity、Design for Human-Centred Technology、Behavioural Design for Planetの3テーマに関して、世界各地から集まった19組がプレゼンテーション。

●パネルディスカッション

ジェイコブ・マッシュー（スリシュティ・マニパール・インスティテュート シニア・デザイン・プリンシパル）、小野健太（千葉大学デザイン・リサーチ・インスティテュート教授）、ユン・ヒョンゴン（韓国デザイン学会理事）ミハール・ジーソ（建築家、ZISO | The SLEEP創設者兼CEO）によるプレゼンテーションの後、長澤忠徳（武蔵野美術大学教授、前学長）のモデレートによりディスカッション。

●クロージング講演

カーチャ・フォーブス（データ・ヴィジュアルライゼーション・ソサエティ デザイン・リーダー兼DEIディレクター）「How Design Can Regenerate the Earth」

27日（金）研究・教育フォーラム 当日の様子



田中一雄実行委員長による挨拶



キーノートスピーチ アイセ・バーセル



パネルディスカッションの様子



研究発表の様子

28日（土）国際デザインカンファレンス 主なトピックス（敬称略）

●開会挨拶

デビッド・クスマ（WDO会長）、田中一雄（WDO世界デザイン会議東京2023 実行委員長、株式会社GKデザイン機構代表取締役社長/CEO）が登壇。

小池百合子（東京都知事）、吉田宣弘（経済産業大臣政務官）のビデオメッセージ。

●キーノートスピーチ

モデレーター：齋藤精一（パノラマティクス主宰）

ティム・インゴルド（アバディーン大学社会人類学名誉教授・社会人類学者）「DESIGN FOR HUMAN TO COME」

アリオラ金田・アンナ（IDEO Tokyo エグゼクティブ・ディレクター）「Multiplicity Abstracted」

マリアン・メンサー（気候イノベーション教育ラボ（CIEL）ファウンダー兼CEO）
「Towards a REGENERATIVE, NET-ZERO, RESILIENT FUTURE」

●ワールド・デザイン・メダル授賞式

WDOが選定し、インダストリアルデザインの発展に貢献した個人に贈られる。パトリア・ムーア（FIDSA会長、ムーアデザイン アソシエイツ・デザイナー、老年学者）が受賞。

●分科会

Humanity、Planet、Technology、Policyの4セッションに分かれ、各4～6名がプレゼンを行った後にディスカッション。

Humanity モデレーター：池田美奈子（九州大学准教授）

登壇者：ドミニク・チェン（早稲田大学文学学術院教授）、暦本純一（東京大学教授、ソニーコンピュータサイエンス研究所副所長）、キャメロン・シンクレア（Worldchanging Institute創業者）

Planet モデレーター：水野 大二郎（京都工芸繊維大学教授）

登壇者：ドウィニタ・ララサティ（イネドネシア・バンドン大学 芸術・デザイン学部講師／研究員）、モニカ・コンクズ＝マッケンジー（エレン・マッカーサー財団シニア・デザイン、イノベーション・マネージャー）、太刀川英輔（公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会（JIDA）理事長、NOSIGNER代表）

Technology モデレーター：スザンヌ・ムーニー（多摩美術大学准教授）

登壇者：松尾豊（東京大学大学院工学系研究科教授）、佐々木剛二（株式会社日立製作所研究開発グループ主任研究員）、田中みゆき（キュレーター／プロデューサー）

Policy モデレーター：田川欣哉（Takram株式会社代表取締役）

登壇者：浅沼尚（デジタル庁デジタル監）、チーイー・チャン（台湾デザイン研究院院長）、原川宙（経済産業省 商務・サービスグループ デザイン政策室室長補佐）、ムハンマド・ニール・エル・ヒマーム（インドネシア観光・創造経済省 デジタル経済・クリエイティブプロダクツ担当副大臣）、アナ・ウィッチャー（PDR、アソシエート・リサーチディレクター）

●総括セッション

齋藤精一を含む5名のモデレーターが集合し、会議のまとめを実施。

人間を中心に据えるデザインのあり方からの脱却、ローカリティの尊重および大企業や政府によるデザインとローカルなデザインの間にあるギャップを埋めるための橋渡しの必要性などが語られた。

28日（土）国際デザインカンファレンス 当日の様子



キーノートスピーチ ティム・インゴルド



ワールド・デザイン・メダル授賞式（左：パトリシア・ムーア、右：デビッド・クスマ）



分科会（Humanity）の様子



分科会（Planet）の様子



分科会（Technology）の様子



分科会（Policy）の様子



統括セッションの様子①



統括セッションの様子②

WDO 世界デザイン会議 東京2023 開催概要

開催期間：10月27日（金）～10月29日（日）*一般公開は10月27日・10月28日のみ

- ・ 10月27日[Research & Education Forum]
デザイン研究と教育に関するフォーラム
(研究・リサーチ等の発表・ポスター展示、及びディスカッション)
会場：千葉大学 デザイン・リサーチ・インスティテュート（東京・墨田）
- ・ 10月28日[Design Conference]
各国のスピーカーによる国際デザインカンファレンス
(キーノートスピーチ、及びサブ・テーマに基づく分科会・パネルディスカッション)
会場：六本木アカデミーヒルズ（東京・六本木）
- ・ 10月29日[WDO General Assembly]
WDO加盟メンバーのみが参加する総会
会場：六本木アカデミーヒルズ

登壇(総会参加)者 27日:25名、28日:50名、29日:117名

来場者 延べ1,300名

WDO 世界デザイン会議 東京2023 公式ウェブサイト

<https://www.wda2023.tokyo/ja>

参考資料：World Design Organization (WDO) について

「デザインによる、よりよい社会の実現 (Design for a Better World)」を目指して活動している国際的なデザイン組織。国連の経済社会理事会の特殊諮問機関として、持続可能な開発目標 (SDGs) のデザインによる達成をミッションとして掲げています。1957年にインダストリアルデザインの重要性を喚起することを目的とした国際団体International Council of Societies of Industrial Designers (icsid) として設立され、2017年に名称をWorld Design Organization (WDO) に変更しました。現在、約40の国・地域から約180の団体や教育機関・企業等がメンバーとなっており、日本からは、日本デザイン振興会の他に、日本インダストリアルデザイン協会、千葉大学、武蔵野美術大学、多摩美術大学、国際デザインセンター、東芝、ヤマハが加盟しています。